

- 前回有識者検証会で提示した以下①から③の3つの観点に加え、④検証会での意見を踏まえた新たな観点を考慮して選定を行うこととする。

対象事業候補は次頁のとおり。

◆効果検証対象事業の選定に係る4つの観点

①データの活用可能性	②事業の展開可能性	③担当部局のヒアリング結果
<ul style="list-style-type: none"> ✓公的統計や事業で取得する情報など、分析に必要なデータが利用可能か ✓エビデンスレベルの高い分析手法を活用できるか 	<ul style="list-style-type: none"> ✓効果検証で得た分析結果が事業の改善改良に寄与するか ✓省内の他領域にも参照される事業特性を有しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ✓データの共有や分析結果の公開に大きな障壁がないか



④検証会での意見を踏まえた新たな観点

- ✓会計的観点（今後の業務負担の観点（会計課意見））
- ✓事業の領域バランス
- ✓E B P Mの模範事例に繋がる可能性

○令和4年度効果検証対象事業候補(令和3年2月5日現在)

対象事業候補		
1	【行革基準】 高年齢労働者処遇改善促進助成金	新規事業
2	慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業	モデル事業
3	医薬品等輸入確認情報システム	新規事業
4	高齢者医薬品安全使用推進事業	モデル事業
5	離婚前後親支援モデル事業	モデル事業
6	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 (うち地域生活定着促進事業)	大幅見直し事業
7	農業分野等との連携強化モデル事業	モデル事業
8	精神障害者保健福祉対策(依存症)	モデル事業